ゆめぱで楽々湯めぐり

城崎温泉に〝デジタル入浴券〟

31日から 携帯など利用

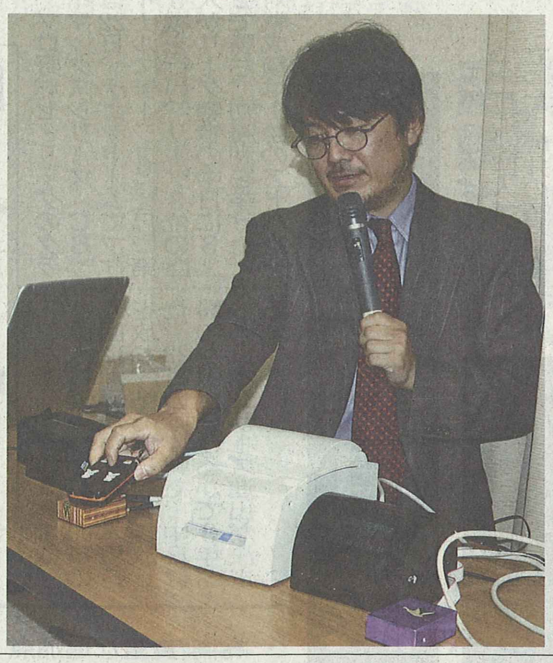
城崎温泉（豊岡市城崎町）の旅館関係者らでつくる「城崎このさき100年会議」は、新たに取り組む「ゆかたクレジット事業」の概要を発表した。財布つき携帯電話などを利用したデジタル外湯券「ゆめぱ」の運用を31日に開始し、入浴券や財布入らずで外湯めぐりが楽しめるほか、12月1日からは温泉街の参加店舗で飲食や土産類も購入できるようにする。同会議は「全国初の試みでは。お客さまにより快適に温泉街を楽しんでほしい」と話している。

城崎温泉街ではゆかた姿でスナックにいけばツケが利き、翌朝宿泊先で清算できる習慣が残っている。また、宿泊客が外湯をめぐる場合は宿泊先に置いてある入浴券が利用できるが、外湯をめぐる途中に入浴券が足りなくなったり、紛失したりするケースもあった。

そのため同会議が宿泊客らに快適に楽しんでもらう一環として、温泉街のデジタル化を考案。独立行政法人「産業技術総合研究所」（本部・東京など）の協力で、「ゆかたクレジット事業」の実施を決めた。

「ゆめぱ」は「湯・ゆかた」や「めぐる・湯めぐり」、「パス・パスポート・ぱっと使える」を表現した言葉。財布機能つきの携帯電話やICカード、旅館で発券するバーコードつき外湯券を各外湯の専用機器にかざせば、入浴できる。

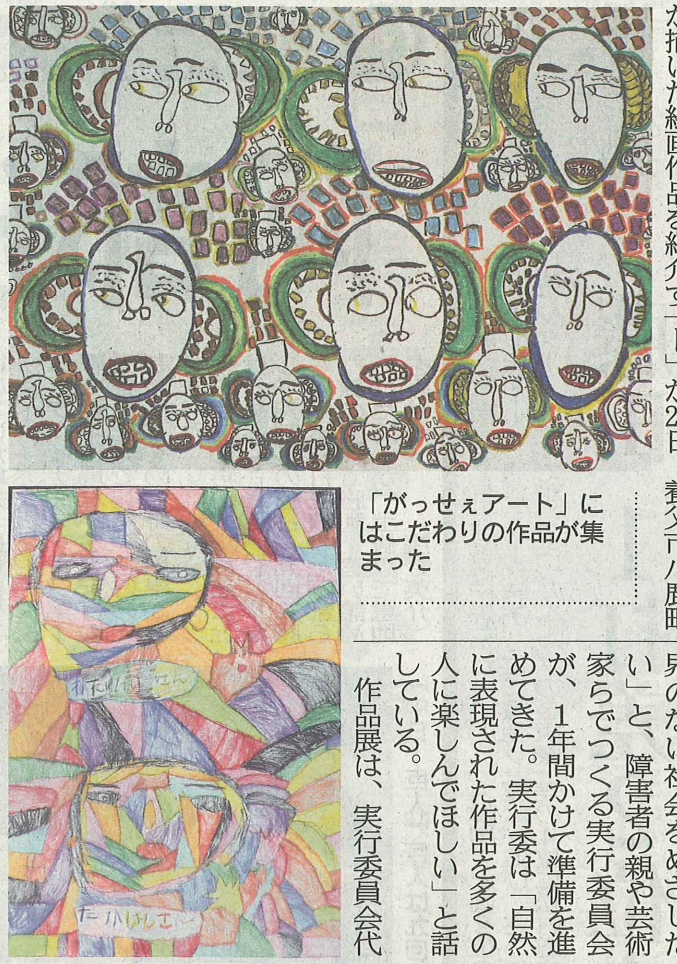
さらに12月1日の稼働をメドに温泉街の参加店舗で飲食や買い物もできるクレジット機能も備え、翌朝に旅館で清算するシステムにしていくという。


「ゆめぱ」の稼働を前に、携帯電話をかざして登録するデモンストレーション

こだわりの障害者アート

きょうから100作品展示

但馬長寿の郷


「がっせぇアート」にはこだわりの作品が集まった

但馬地域在住の知的障害、精神障害のある人たちが描いた絵画作品を紹介する「第1回但馬ボーダレス・アート展 がっせぇアート」が23日、養父市八鹿町国木の県立但馬長寿の郷で始まる。「芸術を通して境界のない社会をめざしたい」と、障害者の親や芸術家らでつくる実行委員会が、1年間かけて準備を進めてきた。実行委は「自然に表現された作品を多くの人に楽しんでほしい」と話している。

作品展は、実行委員会代表を務める茨木やよいさん（54）らが計画した。2年前、知的障害のある長女、朝日（あさか）さん（23）が参加した滋賀県の障害者アート展を鑑賞した際、障害者団体の閉じこもった作品展ではなく、世間に開かれた雰囲気や、展示作品に「今までにない感動」を覚えた。このため但馬でも境界のない障害者の作品展を開こうと、芸術家らの協力でチャリティー展を開くなど資金集めに奔走し、実現にこぎつけたという。

作品展には、但馬地域の小規模作業所の利用者や入所施設で暮らす18～83歳が描いた約100点が集まった。60代の男性の絵は、表情と大きな耳に特徴のある顔がいくつも並ぶ。施設の職員の顔を鮮やかな色で表現し、切り絵のように仕上げた作品もある。障子紙に動物たちの行進を描いた作品や、絵のような文字も…。それぞれにこだわりがあり、観る側の想像力がふくらむ作品が多い。

茨木さんは「多くの人に観てもらうことで、障害者の励みにもなる。将来、芸術家として自立する人が出てくれれば素晴らしい」と話した。

同展は31日まで。11月23日からは豊岡市、来年1月～2月には朝来市でも巡回展示される。

朝来の死亡ひき逃げ 被害者は京都の男性

朝来市山東町の国道9号で20日夜発生したひき逃げ事件で、亡くなった男性は朝来署の調べで、京都府福知山市夜久野町直見の無職、足立信良さん（61）と分かった。死因は頭部の強打だった。

ニュースのご連絡は
豊岡支局
〒668−0025
豊岡市幸町13−20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338
通信部
香住 0796(36)4499
姫路支局
〒670−0921
姫路市綿町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520
洲本支局
〒656−0026
洲本市栄町2−2−15
（本岡ビル2階）
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
神戸総局
〒650−0015
神戸市中央区
多聞通4−1−5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
阪神支局
〒662−0918
西宮市六湛寺町9−11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
通信部
尼崎 06(6421)2545

青空に映える秋桜

秋を彩るコスモスが、豊岡市日高町の神鍋高原で色鮮やかに咲き誇っている。風に揺れるピンクや白色の美しい花は青空に映え、訪れた人々の心を和ませている＝写真。

高原の花景色は、同市出石町の会社員、柴原一彦さん（63）が撮影した。柴原さんは写真歴約30年。但馬地域の四季折々の風景を記録しており、「畑に咲いているのを通りすがりで目にし、あまりにきれいなので車をUターンさせて撮影した。今がちょうど盛りのように鮮やかでした」と話していた。

「ＰＲのチャンス」

豊岡市長 講演まもなく250回

豊岡市の中貝宗治市長＝**写真**＝の講演回数が平成17年に合併後の新市の市長に就任以降、まもなく250回目を迎える。主にコウノトリとの共生をテーマにしており、先月23日は早稲田大学（東京）で講演。年約40回のペースで、中貝市長は「豊岡をＰＲするための営業ができる格好のチャンス」と話している。

市によると、早大では、「コウノトリと共（とも）に生きる豊岡の挑戦」と題し、講演。17年5月の就任から数え、248回目の講演となった。

市外での講演は東京が最も多く、旧市だった16年10月の台風23号被災を教訓に

した災害に関する
17年9月に自然放
コウノトリとの共
た取り組みを紹介
が多かった。

講演料は市長
われ、多い場合は
なるが、市への寄
選挙法に違反する
をＰＲする関連グ
入し、市外への
ているという。

中貝市長は「
てほしい』という
が、数百人規模を
できるので応じて
説明。「豊岡やコ

軽トラで出店「軽よん市」

あす豊岡で

豊岡市の中心市街地のにぎわいを取り戻そうと、同市中央町の「カバンストリート」（宵田商店街）で24日、軽トラックの荷台を売り場に見立てて、但馬地域の海産物や旬の野菜などを販売する「軽（かろ）よん市」が初めて開かれる。

特産品のかばんをいかした地域活性化に取り組む「宵田商店街振興組合」が、香美町の地域おこしグループの協力を得て開催。観光客ら市外からの買い物客を呼び込む定期的なイベントとして定着させ、商店街の収益アップにつなげるのがねらいで、当面来年1月まで毎月第4日曜日の開催を計画している。

初回の24日は、歩行者天
開放される車道に生産者ら
12台が
回以降
前後に
やすという。

午前9時半から午後1時
わせは、カバンステーショ
796・22・2089）

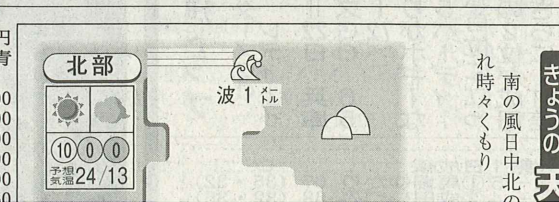
秋篠宮ご
29日豊岡

秋篠宮ご夫妻は
で開催される「第
ノトリ未来・国際
開会式への出席
のため、29、30の
される。宮内庁が
した。ご夫妻は平
月に行われたコウ
自然放鳥の式典

豊岡市況　22日＝単位円（豊岡中央青果市場）

ダイコン	13キロ	2050	500
結球ハクサイ	10キロ	1000	800
ミズナ	5キロ	3000	200
カブラナ	5キロ	1200	300
コマツナ	5キロ	1150	500
チンゲンサイ	5キロ	2300	1150

きょうの天



南の風日中北の
れ時々くもり

あすの暦
24日（日）先勝
旧暦9月17日
月齢16.3（大潮）
標 干 満 月 月 日 日

無名塾「炎の人 Vi
全席指定S7500円
サンケイ